頌徳会グループのご案内（令和4年9月1日現在）

日野病院 外来 診療時間表（堺市東区北野田626番地 TEL 072-235-0090）

●訪問診療 ●訪問リハビリテーション ●訪問服薬指導
●通所リハビリテーション
●時間外診療 有 ●無料送迎バス運行（北野田駅↔日野病院）

診療	診療時間帯		月	火	水	木	金	土	備考
内科	全科目予約制 午前 9:00～12:00 午後13:00～15:00	午前	●	●	●	●	●	●	専門診療科と連携しつつ総合的な視野で診療を行っています 訪問診療も対応しています
		午後	—	—	—	—	●	—	
脳神経外科		午前	—	●	—	—	●	●	脳神経全般に関する診断から治療までを行っています MRIによる検査も受付けています 訪問診療（脳梗塞等）も対応しています
整形外科		午前	●	●	—	—	●	—	レントゲン・CT・MRI撮影などにより診断・治療を行っています
外科		午前	—	—	—	—	—	●	軽度な外傷の治療を行っています（診療日は第1・3・4・5週）
神経内科		午後	●	—	●	—	—	—	

日野クリニック 外来 診療時間表（堺市中区深井中町1248番地 TEL 072-276-5111）

●訪問リハビリテーション ●デイケア メディカルフィットネス ソレイユ
●夜間・土曜診療 有

診療	診療時間帯	月	火	水	木	金	土	備考
内科	午前 9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	一般内科の他、循環器、呼吸器疾患を主に診療しており、胃カメラ、超音波などの検査が可能です
	午後 13:30～16:30	●	●	●	—	●	—	
	夜間 17:30～19:30	●	—	●	—	●	—	
整形外科	午前 9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	レントゲン・CTなどを利用して総合的に診断しています （木曜日の受け付けは、11:00までとなっています）
	午後 13:30～16:30	●	●	●	—	●	—	
	夜間 17:30～19:30	●	—	●	—	●	—	
リハビリテーション	午前 9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	理学療法士によるリハビリテーションを行っています （受け付けは、終了時間の30分前までとなっています）
	午後 13:30～16:30	●	●	●	—	●	—	
	夜間 17:30～19:30	●	—	●	—	●	—	
皮膚科	午前 9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	皮膚疾患の他、膠原病、リウマチ疾患も診断しています
	午後 13:30～16:30	—	—	—	—	—	—	
	夜間 17:30～19:30	●	—	●	—	●	—	
アレルギー科	午前 9:00～12:00	●	●	●	—	●	●	乳児の食物アレルギーも診断しています （土曜日は第1・3・5週に診療を行っています）
	午後 13:30～16:30	—	—	—	—	—	—	
	夜間 17:30～19:30	●	—	●	—	●	—	
形成外科	午前 9:00～12:00	—	—	●	—	—	—	水曜日午後診のみ予約制で手術を行っています ほくろ・脂肪腫・ひきつれ等以外にも様々な疾患を取り扱っていますので、ご相談ください
	午後 13:30～16:30	—	—	●	—	—	—	
	夜間 17:30～19:30	—	—	—	—	—	—	
禁煙外来	午前 9:00～12:00	●	●	●	●	●	—	薬の供給が停止しているため、新規の患者さんの受け入れは休止しています
	午後 13:30～16:30	●	—	●	—	●	—	
	夜間 17:30～19:30	●	—	●	—	●	—	
腎臓内科	午前 9:00～12:00	—	—	—	—	—	—	腎臓病と腎臓病に付随する疾患の診断と治療を行っています （完全予約制）
	午後 13:30～16:30	—	●	●	—	●	—	
	夜間 17:30～19:30	—	—	—	—	—	—	

日野クリニック 血液浄化（人工透析・血漿交換など）時間表

診療	診療時間帯	月	火	水	木	金	土	備考
早朝透析	6:00～	—	●	—	●	—	●	穿刺時痛の軽減を図るためにペイレスニードルによるボタンホール穿刺を行っています 1日を有意義にすごしていただくために朝6時からの早朝透析を行っています。 ※無料送迎バス完備
午前透析	8:30～	●	●	●	●	●	●	
午後透析	～17:00	●	●	●	●	●	●	
夜間透析	～22:00	●	—	●	—	●	—	

介護老人保健施設 ソルヴィラージュ	堺市東区北野田636番地	TEL 072-235-5800	●入所・ショート（短期入所）：150名 ●デイケア：100名
介護老人福祉施設 ソルメゾン	堺市東区菩提町2丁62番地1	TEL 072-288-2008	●入居：80名／ショート（短期入所）：20名 ●デイサービス50名
看護小規模多機能型居宅介護 ソルテイル	堺市東区菩提町2丁65番地	TEL 072-287-3300	●登録定員：29名 ●通いサービス定員：15名 ●泊まりサービス定員：9名
おひさま訪問看護ステーション初芝	堺市東区菩提町2丁65番地	TEL 072-287-3330	〔自宅にいながら24時間体制で医療・介護の面から必要な看護サービスを提供します〕
おひさまケアプランセンター	堺市東区北野田626番地	TEL 072-235-7722	〔ケアマネージャーが要介護認定の申請代行等、介護サービス利用のお手伝いをします〕

★最新情報をホームページ http://www.syo.or.jp/ に掲載しています。ご見学、ご相談など随時承っていますので、お気軽に各施設までお問い合わせください。

VEGETABLE OIL INK
地球環境保護のため、この印刷物はベジタブルインキを使用しています。
また、有害廃液を出さない水なし印刷方式で印刷しています。

ひだまり 61
頌徳会グループ広報誌「ひだまり」2022 秋号 Vol.Ⅲ No.61 発行／社会医療法人 頌徳会 総務部 ★ご希望の方に無料配布します デザイン／so much

頌徳会・頌徳福祉会と地域を結ぶ情報誌

ひだまり

2022 秋号
Vol.Ⅲ No.61

特集 日野病院 医療体制強化への取り組みについて

頌徳会グループお役立ち情報
理事長コラム
頌徳会グループのご案内

Primary Ship 頌徳会グループ

日野病院 医療体制強化への取り組みについて

患者さん・ご家族は、入院～退院～在宅復帰に至る過程において様々な不安が生じます。そこで今回は日野病院で取り組んでいる在宅復帰に向けた取り組み ‘在宅復帰を見据えたカンファレンスの実施’ ‘在宅サービス強化への取り組み’ についてご紹介します。

■日野病院のカンファレンスについて

院長　豊島 茂

「気づき」の山を築きます。

入院される患者さんは多くの方が早く家に帰りたいと仰います。当然ですよね、わが家での生活が一番です。しかし、自宅へ帰る前に入院の原因である怪我や病気の状況を正確に捉える必要があります。

当院では、入院時より主治医である医師をはじめ、各種の専門職員がチームを作り、患者さんの情報共有を行う会議（カンファレンス）を開いています。入院期間中には、カンファレンスを重ねることで、大切な「気づき」を導き出し、その方にとって本当に必要な治療や調整を構築していきます。退院カンファレンスでは、ご家族との相談結果も踏まえて安全で快適な生活環境を準備し、スムーズに移行できるように努めています。カンファレンスとは、重要な治療の一部なのです。

■在宅復帰を見据えたカンファレンスの実施について

【そもそも ‘カンファレンス’ とは？】

患者さん・ご家族のご希望を元に、医師・看護師・リハスタッフ等の多職種が異なる視点で、課題や情報を共有し、退院に向けた目標決定・進捗状況を確認する会議のことを指します。日野病院では『チーム医療』を行っており、カンファレンスは『チーム医療』を推進する上で重要な役割の一部を担っています。

●リハビリテーションを目的に回復期リハビリテーション病棟へ入院の場合

入院 → 2週間以内 初回カンファレンス → 入院後説明（2週間後目安） → 退院支援カンファレンス → （退院前居宅訪問） → 退院1ヶ月前 サービス担当者会議 → 退院

初回カンファレンス

主治医・看護師・リハスタッフ・管理栄養士・相談員が、初回の目標設定・チーム医療計画を決定。

退院支援カンファレンス

POINT

早い段階で退院後に向けた調整を開始

目標に対する進捗状況の確認や、新たな目標設定を行いつつ、主治医が中心となって、退院後の在宅生活に向けた具体的なサービスの調整とアドバイスを実施します。

（P.3　※1参照）

サービス担当者会議

退院後に利用するサービスが決定した上で、関係者が集まり会議を開催します。より具体的に退院後の支援に向けた話し合いを行います。

訪問リハ　通所リハ　訪問看護　訪問診療　訪問服薬指導

※上記以外にも担当者間で定期的にカンファレンスを実施し、チームとして支援する体制を整えています。

■在宅サービス強化への取り組みについて

副院長　白樫 一憲

当院の訪問診療医は6名在籍し、様々な患者さんに対して万全な体制を取れるよう複数バックアップ体制を整えています。訪問診療の多くのニーズに対応する場合、一人の医師ではやりきれるものではありません。複数の専門を持つ医師がいるということは患者さんにとっても安心材料につながることと感じています。

また頌徳会グループでは在宅サービスご利用者は当院へ入院できる体制を整えています。普段は問題ない在宅生活でもご家族の介護負担への配慮は非常に大事なことと思っています。在宅生活困難の際に受け入れ先があること、すぐに入院できる病床があるということは日々の在宅生活の安心につながります。在宅医療は連携が大事な医療であり、連携する病院も重要なポイントになります。

現在、高齢化社会を迎え、病床不足、医療提供者の不足などから生じる医療難民を出さないよう在宅医療は推進されています。頌徳会グループでは在宅医療に切り替える必要に迫られている場合であっても、入院中と同様、質の高い医療を提供できるように日々努力しています。

■在宅サービス強化への取り組みについて

頌徳会グループでは各在宅サービス部門が連携して、ご自宅で療養されている方、疾病や負傷で通院が困難な方に充実した医療・介護サービスを提供し、安心して快適な日常生活を送っていただけるよう支援しています。

【在宅サービスの強化ポイント】

◎日野病院 退院前から各在宅サービス部門との情報共有・連携を強化

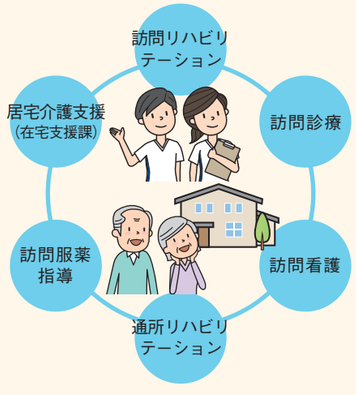
主治医を中心とした日野病院のカンファレンス

POINT①

在宅支援課スタッフが日野病院のカンファレンスに参加。早期から退院後に向けた継続的なサポートに繋げます（※1）。

POINT②

カンファレンス内容を各在宅サービス担当部門にフィードバックし、患者さん・ご家族のご意向、在宅生活の方向性、課題の情報共有・連携を図ります。



ご利用者のメリット

- 退院後、切れ目のない在宅サービスの利用が可能になります。
- 個性に合った在宅サービスの提供に繋がり、「人生の質（Quality of Life：QOL）」向上に繋がります。

日野病院 介護老人保健施設 ソルヴィラージュ

日野病院・ソルヴィラージュで進める食事改善の取り組みについて

現在、頌徳会グループでは、『食事に満足していただく』『咀嚼・嚥下が困難な方も安心して食べられるようになる』ことを目的に食事の業務改善を推進しています。今回は日野病院・ソルヴィラージュそれぞれの取り組みをご紹介します。

■日野病院の改善ポイント

背景要因には…

退院後、「一口大」「粗刻み」「ムース」などの特別な食事形態の準備については、‘独居で障害を抱えたまま1人で調理することが難しい’‘高齢介護者と2人暮らしで、介護者は細かな作業が難しい’等の理由で、食事の準備が困難な場合があります。そのような背景から、入院中により普通食に近い食事形態を食べられるようになって退院いただくことを目的に取り組んでいます。

◎全入院患者さんを対象に多職種協働による、最適な食事形態への定期的な見直しを実施

POINT

以前は安全性を重視する傾向にあったが、医師・看護師・言語聴覚士・栄養士が連携し、患者さんの食事形態のレベルアップへの共通意識を持って、様々な視点から介入することで、より高い食事形態へのレベルアップを図るように改善しています。

◎鮭の醤油こうじ焼き

ムース食

粗刻み

一口大

普通食

介護食『あいーと』を導入(※2)

■ソルヴィラージュの改善ポイント

背景要因には…

以前より、『食べる楽しみ』に配慮しつつ、安全を重視した多職種協働による経口移行・経口維持への取り組みを行ってきましたが、お食事には‘味’‘見た目’‘香り’等の様々な感覚が重要になります。これまで以上に食事を楽しんでいただくために、これらの視点を加えた食事形態レベルアップに向けた取り組みが必要との認識で改善を進めています。

◎ご利用者毎の適正なお食事量の把握・分析、及びチェックリストの見直し

POINT①

残食状況を撮影・記録し、ご利用者毎の嗜好・傾向を把握

POINT②

チェックリストの導入による評価の標準化を実施

食事形態レベルアップのメリット

- 食事に対して積極的になり栄養状態が改善
- 食事への満足感が向上することでQOLが向上
- 介助するご家族の介護負担が軽減
- 在宅復帰に向けたリハビリテーションに必要な体力作り

れんこん

【(※2)介護食『あいーと』とは】

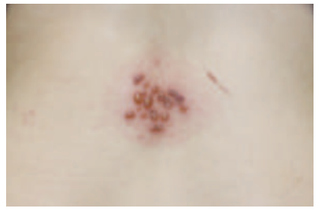
イーエヌ大塚製薬㈱独自技術 酵素均質浸透法により、見た目はそのままですが、スプーンで軽く押し付けただけでつぶせるやわらかさになっています。

2022年8月25日より、日野病院・ソルヴィラージュでもムース食等に代わり、導入しています。

日野クリニック

帯状疱疹ワクチンについて

■帯状疱疹とは



水痘帯状疱疹ウイルスの再活性化によって引き起こされる感染症です。知覚神経の分布に沿って、片側性、帯状に水疱を伴う紅斑を生じ、疼痛を伴うことが特徴です。水痘(水ぼうそう)に罹患すると、そのウイルスが神経節に残り、加齢等の免疫低下により発症します。2014年から小児への水痘ワクチンの定期接種が開始された結果、水痘発生率が低下し、帯状疱疹発生率が増加したと考えられています。

■帯状疱疹の特徴

罹患後、焼けるような持続痛、電気が走るような電撃痛、衣類が接触するような通常では痛みは引き起こさないような刺激で激しい痛みを感じることがあります。帯状疱疹に罹患するのは一生に1回と言われていましたが、再発することも稀ではありません。

■ワクチンについて

名称／種類	弱毒生水痘ワクチン／生ワクチン	シングリックス®／不活化ワクチン
費用／接種回数	7,700円(税込)／1回	1回19,800円(税込)／2回(通常2ヶ月間隔)
予防効果	発症を51%減少、神経痛を67%減少	発症を90～98%減少、神経痛を85～100%減少
効果持続	8年間	10年間
副反応	軽度の疼痛	中等度の疼痛・発赤腫脹・筋肉痛・易疲労感

帯状疱疹発症予防にはワクチン接種が有効です。50歳以上の方で、治療薬、持病で免疫が低下している方にワクチン接種をお勧めしています。

名誉院長　小塚 雄民
皮膚科・アレルギー科

◎詳しくは日野クリニックまでご相談ください。　TEL **072-276-5111**

介護老人福祉施設 ソルメゾン

食事改善の取り組みについて

ソルメゾンでは、ひだまり夏号(No.60)でご紹介しました介護食『あいーと』(P.4 ※2)の導入と並行し、食事の調理提供方法の見直しを行いました。食事改善後の状況についてご紹介します。

▲普通食 まぐシャリ丼

POINT① 普通食の調理提供方法の見直し

従来は大量調理方式のために調理後から提供までに時間が掛かる等により、食事が冷めたり、固くなる等の課題がありましたが、調理提供方法を見直すことでレストランのように温かく柔らかいまま提供できるようなりました。

POINT② 食事形態の振り分けを一から見直し

普通食の見直しに伴い、日野病院 西川副院長、言語聴覚士による専門的な視点と、ご利用者を良く知るソルメゾン看護課、介護課、栄養課が協力し、食事形態の振り分けを見直しました。

見直し前

普通食	30食
キザミ食	30食
極キザミ食	20食
ミキサー食	20食

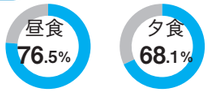
→

見直し後

普通食	69食
あいーと	31食

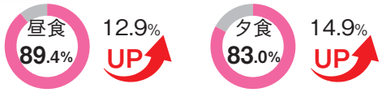
【導入後、喫食率がプラスに変化】

Before　導入前 6月実績



→

After　導入後 8月実績(8/1～8/15間)



◎ご利用者自ら積極的に食事を食べられるように変化。

ご利用者からは

「美味しいし、食べやすい。」「もっと食べたいわ。」「今、何を食べたのかよくわかる。」

ご家族からは

「舌で味わって食べられるのですね。」「目で認識して食べられるので、いいですね」
「形のあるものが本人は好むので喜ぶと思います。」

知って安心。医療・介護インフォメーション

シリーズ第4弾「要介護度の決定に関わる『主治医意見書』とは」

今号では、シリーズ第2弾『介護保険の申請方法について』でも紹介しました要介護度決定に深く関わる重要書類『主治医意見書』について解説します。

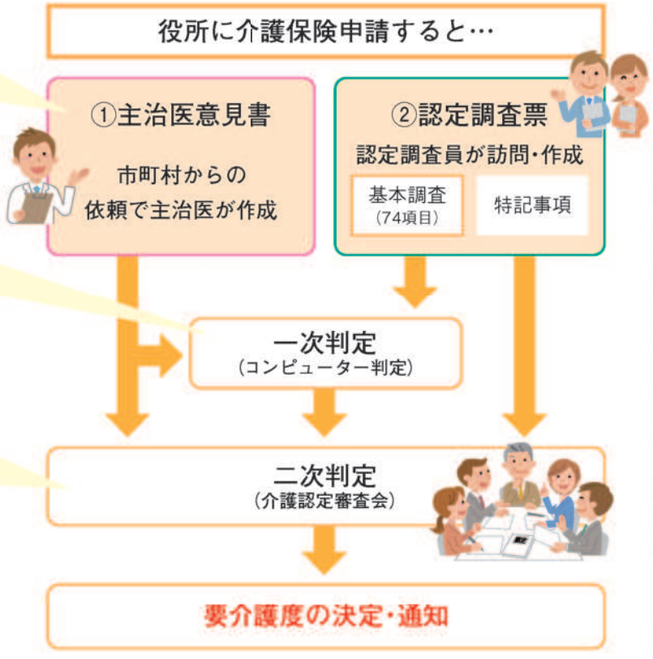
【主治医意見書は、いつ・どのように手配されているの？】

介護保険申請時、役所に提出する申請用紙の「主治医記入欄」に基づき、役所から直接かかりつけの「主治医（＝かかりつけ医）」に『主治医意見書作成』が依頼されます。

「かかりつけ医」が、'病歴' '認知症の有無' '筋力の状態' '日常生活の自立度' '日頃の生活状況' 等、細かく記載します。

入浴・更衣・食事介助等、様々な介護に必要な時間の長さ
『介護の手間』が決め手!!

「医師（役所が委託）」を含む、各職種5名程が参加、一次判定では評価できない部分をふまえて審査します。医師は、医学的見地から判断するため、主治医意見書を重視します。



介護度の決定には、かかりつけ医の「主治医意見書」がポイント！

普段、ご家族がどのような介護を行っているのか、**『介護の手間』を詳しく正確な意見として書くことができるのは、患者さん・ご家族を良く知る「かかりつけ医」**です。そして正しい介護度が出なければ、希望のサービスを利用できない可能性もあります。あらかじめ「かかりつけ医」に相談し、なぜ介護サービスを利用したいのかを細かく伝え、主治医意見書の作成を依頼しておくとよいでしょう。

「おひさまケアプランセンター」では、
ご自宅等で生活を送る要介護・要支援状態にある方が、適切に介護サービスを利用できるよう、様々な相談を受けたり、手続き等の代行を行います。介護に関する相談や代行申請は無料です。

まずは、お電話を！　おひさまケアプランセンター直通番号：**072-235-7722**

理事長コラム　美味しい食事を腹いっぱい

理事長 日野 頌三

記事でも触れていますが、頌徳会グループでは現在、食事の改善に取り組んでいます。「美味しい食事を楽しく召し上がっていただく」ことは、従来からの方針でしたが、病院や施設の食事には、治療あるいは療養上、一定の制限がかかることがままあります。しかしいくらその制限に沿った食事をお出ししても、しっかり召し上がっていただけなければ意味はありません。残さず召し上がっていただける食事、つまり、美味しい食事であることが何より大事なのです。

美味しい食事であれば自然と食欲が出て、食べる量も増え、結果、栄養の改善につながります。

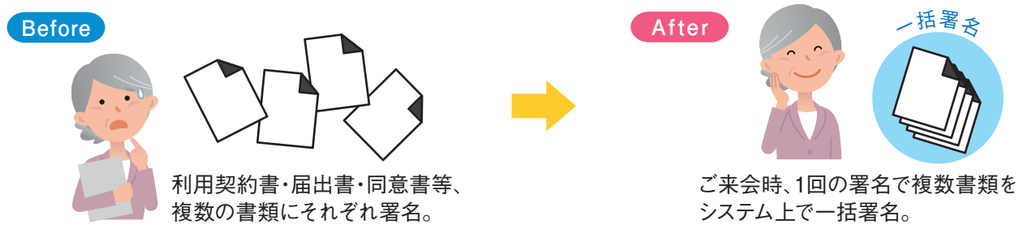
昨今は技術の進歩で咀嚼や嚥下が困難な方用の介護食も良いものが開発されています。それらの導入と並行して、グループ全体の食事についても改めて見直しを図ることとしました。新しいシステムの採用で、献立も従来の病院、施設の食事からは考えられない程バラエティーに富んだものになりそうです。詳細は次号ひだまりでお伝えできると思いますが、先行して始めたソルメゾンでは大変好評をいただいているようです。食事をきっかけにご利用者の意欲が増したとのうれしい報告も受けています。

食事は生命維持のために必要な行為ですが、それだけではありません。誰しも美味しい食事で心が満たされた経験をお持ちではないでしょうか。

口から食べ、歯で噛んで、鼻で香りを感じ、舌で味わって、飲み込む、この動作に「食べる喜び」という生命の花を添えたいと考えています。

頌徳会グループ　電子サインシステム「アルテリア」を日野病院、日野クリニックに続き、ソルヴィラージュ、ソルメゾンにも導入しました。

日野病院・日野クリニックで先行導入しました電子サインシステム『アルテリア』をソルヴィラージュ・ソルメゾンにおいても導入することとなりました。これにより、サービス開始時・入所時に必要な契約書・届出書・同意書等の確認・署名がシステム上で完結し、記載時の負担軽減・情報漏洩リスクの低減を図ることができるようになりました。



◎将来的には、ご自宅訪問時にも一括署名いただける仕組みを準備中です。

頌徳会グループ 理念　生命の花を咲かせます　生きる力を支えます　力を活かして支えます